

平成28年度宮古地区安全大会が開催されました

平成28年度の宮古地区安全大会(主催:沖縄県労働基準協会宮古支部など4団体)が平成28年6月6日にJ A 沖縄宮古地区本部2階大ホールで開催されました。

同大会は、安全意識の高揚と安全活動の定着を目的に、全国安全週間(7月1日から7月7日)の準備期間中に開催されたもので、企業の代表者や安全担当者等約130人が参加しました。

大会では最初に、労働災害で亡くなった労働者の冥福を祈り、1分間の黙とうをささげました。

主催者からは、「事業主と働く者が一体となって労働災害防止に取り組み、労働災害ゼロを目指して頑張ろう」と呼び掛けがあり、労働基準監督署長からは、「宮古地区における労働災害は増加傾向にある」旨説明し、「地道な日々の安全活動は労働災害防止の原点」「日頃の安全活動を確実に実施し労災事故の減少に努めて欲しい」と呼び掛けました。

特別講演として、宮古島地方気象台の防災気象官から、「高温注意情報等について」と題し、熱中症を予防するための高温注意情報等の活用について講演が行われました。

その後、「労働者ひとりひとりがまわりにある見えない危険を確認し、安全に対する過信を捨て、労使一体となって安全活動に邁進していく」とする大会宣言を採択し、参加者全員で「指差呼称」を行い、今後の安全活動に決意を新たにしました。

